

普及活動検討会実施報告書

石巻農業改良普及センター

実施月日：令和3年2月4日

実施場所：石巻合同庁舎（石巻市）

1 検討内容

| No | 検討項目 |
|----|-----------------------------|
| 1 | 令和3年度普及指導基本方針（案） |
| 2 | プロジェクト課題の令和2年度実績と令和3年度計画（案） |

2 検討委員の構成

（単位：人）

| 区分 | 人数 | 区分 | 人数 |
|----------|----|-------|----|
| 先進的な農業者 | 2 | 生活者 | |
| 若手・女性農業者 | 1 | 学識経験者 | |
| 市町村 | 2 | マスコミ | |
| 農業関係団体 | 1 | 民間企業 | 2 |

2 委員の評価と普及センターとしての対応方向

※下記「評価結果」欄の「○印」は普及活動検討会時にいただいたご意見等、「◎印」は、提出があった「普及活動検討会評価表」（別記様式第1号）の「評価（評価できる点や改善すべき点）」欄に記載された内容を転記。

| 検討項目 | 評価値 平均値 | 評価結果（コメント、評価表の要約） | 普及センターとしての対応方向 |
|------------------|------------|---|----------------|
| 令和3年度普及計画（案）について | 4.1 | ◎計画の設定…地域ニーズをとらえていると思う。目標設定も適切と思う。活動内容も良いと思う。 ◎活動展開の方向性…支援方向、活動手法は適切と思う。関係機関や農業者との連携も良いと思う。 ◎前年度までの経過や評価の反映…これまでの活動による成果、未解決の課題等が適切に反映されていると思う。 ◎ほぼ前年同様の普及計画かと思うが、コロナ禍にあつて先進地視察や生産者、消費者の交流イベント等も行い難しくなっている。栽培技術だけでなく、マーケティングや産地からの情報発信について、アドバイスがもらえると良い。 ◎どの計画も力を入れてもらいたい内容なので、関係機関や農業者と連携して支援をお願いする。 ◎令和3年度の計画は、地域の課題・期待に即したプロ | |

プロジェクトとして進められていると思う。特に獣害対策については、地域の理解がなければ進まないことから、このプロジェクトがモデルケースとして、管内に波及するよう期待する。

- ◎プロジェクト課題について、来年度も引く続き行うことになったので、令和2年度と視点等を変えながらより良い指導を期待する。
- ◎震災後各地に設立された農業法人に対して、適切な指導と助言を行っていることが、今後の経営方針となってきた様だ。大いに評価されることだと思う。
- ◎東日本大震災から10年が経過しようとしている現在、沿岸部を中心に農業形態が、大きく変わり、本市においても、農業法人の設立が加速化し、法人等が担い手の中心となり、震災からの復興が図られてきた状況である。
- ◎一方、全国的な少子高齢化は、ますます拍車し、今までに、遭遇したことのない超高齢化に突入することが予想され、農村集落では、崩壊の危機が懸念されており、中小規模経営の農業経営を支えるような対策を講じることも重要であることから、国、県において、意欲のある中小規模担い手に対しての支援策をお願いしたい。
- ◎園芸振興が10年後には倍の売り上げに、という目標が達成する様、色々な角度からの指導、支援に期待したい。
- ◎重点活動項目のひとつでもある「地域農業を支える多様な人材の確保・育成」においては、特に「農福連携」の取り組みも人材育成支援事業として組み込んで欲しいと思う。
- ◎また、次世代に担う農業には、ITやAIは必然となってくる時代を鑑み、導入支援や経営改善の一助になる仕組みを構築できればと考える。
- ◎河北セリの継承者の課題を含め、産地強化の中に継承者をつなぐスキームを生産者、JAなどと協働する仕組みが必要であると考え。3年度では4つのプロジェク

- ・人材育成について、新規就農者の資質向上（技術、経営）支援活動を令和3年度普及指導計画の重点課題に位置づけ、支援していきます。

| | | | |
|------------------------------|-----|---|--|
| | | トに加えて、「人材育成」の強化も視野に入れた活動をお願いしたい。 | |
| プロ課題の 進捗状況 課題No. 1 | 4.0 | <p>○地域内でどのくらい堆肥供給量があるのかというのを調べていただいてありがたい。</p> <p>○地域内の堆肥は、その供給量で間に合うのか。また、堆肥の単価が1000円、500円とあったが、散布賃は入っているか。</p> <p>○地域にある北上の堆肥センターから購入するという考え方はないのか。</p> <p>○長面地区の土作りとして、堆肥の置き場について石巻市に生産者から相談がきている。課題があると思うが、引き続き支援をお願いしたい。</p> <p>◎有機物施用の効果が出始めているので、継続した取り組みをお願いする。</p> <p>◎乾田直播による労働生産性の向上が良いのか、有機物施用を中心として、環境保全米への取り組みが良いのか、今後試算をお願いする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・長面地域の耕作部分が120haで、60haずつ2ブロックに分けて、年を分けて2t毎散布する計画を立てています。そのため、必要となる堆肥量は60ha1200tになるので、調査の可能供給量の結果と同じにはなりません。しかし、地域の3法人で使用するとなると、不足すると想定しています。針岡地区についても個人、新規就農者から堆肥を入手する予定にはしていますが、不足する見込みなので、令和3年から4年に堆肥散布に取り組んでみて模索することになります。 ・堆肥の散布賃は入っていません。堆肥の価格と仮置き場までの運賃です。堆肥の質などで値段の設定を変えています。 ・地域の堆肥センターを有効に活用するのが理想だと思います。しかし北上有機センターは原則袋での販売で、ばら売りはしないので、経済性を考えると購入は難しいと考えています。その結果、堆肥センターは使わずに地域の畜産農家から直接購入するということを選択しました。 ・乾田直播栽培は、大規模土地利用型法人の稲作部門の労働力や作期分散、育苗施設規模を超えた作付面積拡大への対応、転作で使用している農業機械の水稻での汎用利用できるメリットがあります。一方では、移植栽培に比べて、施肥量と除草剤の散布回数が多くなる栽培技術と |

- ◎計画の設定…対象の選定に問題はないと思う。ニーズも捉えていると思う。目標も適切と思う。
- ◎活動展開の方向性…支援方向、活動手法は適切と思う。関係機関や農業者との連携も良いと思う。
- ◎目標達成程度、今後の対応策の整理…これまでの活動による成果、未解決の課題等が適切に反映されていると思う。
- ◎発表内容はとても分かりやすかった。
- ◎活動目標の進捗と自己評価がとても良かった。
- ◎堆肥の利用状況の説明図はとても分かりやすかった。
- ◎地域内における供給可能な堆肥の量が把握されたことや堆肥散布の効果が改めて確認できたこと、利用計画が作成されたことなど非常に良かったと思う。
- ◎堆肥置き場の問題や雑草防除、直播栽培技術の定着に関してなど、引き続き被災農地で頑張る方々への指導、支援をお願いします。
- ◎コストの低減を目指し、地力の低い土地に対して適切な指導が行われていると思う。
- ◎有機物施用による土づくりが継続的に行われることへの効果が地域ごとのエコシステムになっていくと、より水稲乾田直播栽培への取り組みが拡大するものと思われる。
- ◎前回も提案したが、プロジェクトの中にぜひ生産性の向上と人材育成も加え、両輪でのプロジェクトになると良い。直播栽培の技術向上にもつなげていくと良いと思う。
- ◎堆肥活用においては、畜産法人との連携によっての効果検証などのデータを蓄積することで、さらに活用の

なっております。また、堆肥の施用の取組については、復旧農地の地力向上の効果を検証しており、堆肥の施用による地力向上と有機物補給による土壌の物理性改善を図ることを目的としています。そのため、現時点では環境保全米としての栽培方法による作付は視野に入れておりませんが、今後、複数年のデータを積み上げながら、経営的に有利な手法を検討していきたいと思っております。

- ・人材育成に関する取り組みとして、令和2年度は（株）宮城リスタ大川から相談を受け、農業経験年数の浅い従業員向けに「水稲栽培の基礎講座」等を、職員が講師となり開催しました。今後も各法人と調整の上、プロジェクト課題と並行して、必要に応じた人材育成支援を行っていきます。

| | | | |
|---------|------|--|--|
| | | <p>汎用化が図られ、市内法人の活用の幅が広がると思われる。</p> <p>◎また、定量的数値目標においても、「労働力の工数管理」での生産性向上におけるアウトカムを意識した取り組みが必要である。(新規就農の仕組みにも取り入れたい)</p> <p>◎被災地域における土づくりは、今後の経営に大きく影響する。継続的な取り組みが求められるので、畜産農家との連携、コスト試算などを通じて、しっかりとした土づくりが進められるよう、また、地力低下が被災地域だけではないことも含めて面的な広がりとなるよう期待している。</p> <p>◎特に、長面地域は塩害への配慮も必要となることから、水をはった作物作付が基本となる一方、土づくり・経営などにも配慮するとさまざまな選択肢が出ると思う。そういった点も含めて、当該地域の法人との対話により、よりよい方向性を導き出してもらいたいと思う。</p> <p>◎生産者の方は堆肥置き場等いろんな面でご苦労をされていると思う。土づくりは収穫に大きく反映する。単収増に繋がるよう支援をお願いします。</p> <p>◎生産性向上には、土づくりが基本であり、地域内の畜産農家と連携し、循環させる仕組みは理想的なもの。</p> <p>◎堆肥無施用区との比較で、10 a あたり51kgの増収となったことは一定の成果があったもので評価できるものと思われる。</p> <p>◎今後の取り組みとしては、主食用米以外の取組みについても求められるものと考えられるため、他の品目についても検討する必要がある。</p> | <p>・復旧農地では、砂質土壌で地力が低い事例が多いため、復旧農地に作付けされる大豆や主食用以外の水稻での堆肥の効果を、普及センターの活動の中で確認し、機会を捉えて情報共有していきたいと思います。</p> |
| 課題No. 2 | 3. 4 | <p>○役員の数と正社員数とパート数について教えて欲しい。</p> <p>○個別面談の結果について、役員は十分な給料を払いた</p> | <p>・役員が常勤4名、非常勤1名、正社員は9名、パートは10名から20名ほどが入れ替わりで働いています。</p> |

い、社員は長く働きたいとあり、お互い良い雰囲気
働いている印象がある。

- 栽培講座の時もディスカッションに参加するとい
ことで、参加者全員が発言して取り組んでいるのなら
素晴らしいと思った。生育の状況や天候のタイミン
などを社員自身がよく見て、考えて、意見述べれば
すぐ良い状態になると思う。実際ディスカッション
の時は参加者は生き生きと参加しているのか？
- 毎年、新規採用で頑張っていることはとても素
晴らしいと思う。社員の中での栽培講座とか働き方
の話し合いをしているようだが、株式会社というこ
とで、株主との関係性はどのようになっているのか。
実際今現場で働いている者が株主の場合は支障ない
のだが、今後役員が年齢的に働けなくなると、株主
と社員が独立したことになるので、総会前の会議だ
とかお金のこととか難しくなる。株式の継承など
も良い方向性を探して、問題なく法人を継続して
いけるようにしてほしい。被災後10年が経過し、
どの法人も同様の問題が出てくると思う。事業承
継の手法も明確にして会社の経営の方に活かして
いけると社員も支障なく気持ちよく働けると思
う。
- 人事評価システムについて、社員10名以下、パ
ートが多くても20名くらいという規模であれば、
やり過ぎているのではないかという気がする。評価
システムを作った後維持できないということが今聞
いた段階で予想できる。普及センターが簡略化し
て維持できるように支援しないと、素晴らしいも
のができているのに、そのままになって、会社
の変化に全然ついていけないものになる。簡易
化したものにした方が良いのではないかと感じ
た。
- 農業法人を回る機会があるが、一般企業と類
似したような人事評価などを作っていないところ
が結構見受けられるので、対象の取り組みは画
期的で素晴らしいと思った。
- 給与表を作ったり、人事評価ということにな
ると、社

- ・参加者の性格や、業務内容の違いなどがある
が、参加者の方たちは活発な議論ができてい
ると思います。
- ・現在は社員と株主がイコールのかたちにな
っており、社内会議や役員会議が株主総会
前の良い前捌きになっている印象があ
ります。
- ・他法人でも社員に株を持たせたいが株を
買えるほどの給料を出していないこと
や、議決権をどのくらい持たせる
のかなどの問題に直面していること
を聞いております。すぐではないけれど
今後10年くらいのスパンでは考えて
いかねばならない課題と認識してい
ます。
- ・評価項目は増やすより減らす方が簡単
なので、今回は関連項目をすべて拾い
上げてみました。自己評価項目が多
いと、社員にとっても負担になり
ます。今回の作成で終わりではなく、
社員と役員の負担がそこそこでも
効果があり、かつ評価者によって
ぶれることのない項目で整理す
る予定です。アフターフォローを
して評価システムが定着するよう
に支援していきたいと考えていま
す。

員の方は、法人が何を求めているのかなど、根拠があるものがないと働く上で安心できない。役員が代わると物事が二転三転するということが起きるとなかなか社員と役員の信頼関係に乖離が出てくる。人事評価などを社員に求めるのであれば、法人の内にもしっかりとした規程があるといいと思う。

○社内コミュニケーションについて、最近Zoom, LINE, Slackなどを導入している事例もあるが、活用状況はどうなのか。オンラインだけだとなかなかコミュニケーションを図れないということもあるので、オフラインと両方あると良いと思うのだが。

◎計画の設定…対象の選定に問題はないと思う。ニーズも捉えていると思う。目標も適切と思う。

◎活動展開の方向性…支援方向,活動手法は適切と思う。関係機関や農業者との連携も良いと思う。

◎目標達成程度,今後の対応策の整理…これまでの活動による成果,未解決の課題等が適切に反映されていると思う。

◎発表内容はとても分かりやすかった。

◎活動目標の進捗と自己評価がとても良かった。

◎頑張って作った評価システム,貸金テーブルは少し立派すぎる気がする。指導員には農家自らが維持・改良できるモノとする支援を希望する。

◎部門リーダーが決まりつつあることは評価するが,人材育成に力を入れてほしいと思う。

◎部門間の協力体制がないと,仕事量について社員の不満が出るのではないかと思う。

◎優先することの洗い出しのための個別面談の実施で明らかになったことへの支援方針が決まったことは良かったと思う。

◎役員と社員の間的气氛が良くなるよう,講習会やディスカッションの場などで普及センターが間に入って色々なアドバイスをお願いしたい。

◎活動事項Ⅰ,Ⅱ,Ⅲのどれも非常に細やかな支援をさ

・Zoomなどのオンラインコミュニケーションツールは,社として使用にあたっての通信料等をどうするかなどを決めなければならないので,使用に至っていません。社内での情報共有は実際に足りていない印象なので,部門間での交流を促すためにも,定期的に集まってもらうようなことを働きかけていきたいと思います。

れていて良いと思う。

- ◎社内組織体制にまだ不安が残る。
- ◎評価システムはあまり効果的には思えない。
- ◎常時、労働人員が多いような気がする。パート体制にシフトしていくのも経費節約に思える。
- ◎株主の高齢化と社員労働力の関係性が心配。
- ◎農業法人のハンズオン支援は、もっと多くの法人にも取り入れて欲しいほど、組織力強化は重要度の高いプロジェクトだと思う。
- ◎今回の評価システムの構築により、本人評価と役員評価の乖離が浮き彫りになったことによる原因や課題の抽出をぜひ実施して欲しい。例えば、その原因になっているガバナンスの問題があれば、役員の権限規程やコンプライアンス規程などが設置されているのかも並行して検証することが必要だと考える。（従業員にばかり求めるように写ってしまう可能性があるため、役員側にも評価システムが機能されることが重要）
- ◎自己評価表はもっと簡易なものが望ましい（項目が多すぎて継続性に欠ける）
- ◎とても素晴らしい取り組みと思う反面、委員の意見にもあったとおり、持続可能かどうかという点については、厳しさがあると思う。
- ◎なお、技術の伝承について、いかに後世に伝えていくかは非常に高いハードルだと思っている。作業の標準化が定着したうえで、身につくものも多かろうと思うので、引き続きの支援を期待する。
- ◎組織にとって決めごとが見える化は、重要な課題と認識している。
- ◎部門間の調整、社内のコミュニケーションの取り方、新規採用職員の教育等についても多岐に渡り指導、支援をお願いします。
- ◎社内制度の確立のために自己評価や役員評価を実施したが、評価に乖離との結果については各々の立場での評価と考えれば、当然の結果とも言える。収益を上げるための目線をもつ役員と雇われ人の目線には、自ず

・今回で言えば、役員が「まだ教えていない、やらせていない」業務に関して社員が「十分できている」と自己評価してきた例があり、そのレベルの乖離が起きないような項目・設問の設計が必要だという議論になりましたの

| | | | |
|----------------|--|---|------------------------|
| | | <p>と基準点にずれがある。身の丈にあった評価の在り方の検討が必要ではないか。</p> | <p>で、引き続き検討していきます。</p> |
| <p>課題No. 3</p> | <p>3.9</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「にこにこベリー」の収量について、説明はあったが、売値はとちおとめと比較してどうなのか。 ○「にこにこベリー」は希少価値がある分、直売所等で他品種よりも高く売れている。去年より収量もとれ、値段もいいので良い。 ○「にこにこベリー」は形と大きさがそろっていてパック詰めしやすい。作業がしやすいことが利点のひとつ。 ○昨年課題であった房折れも少なく、収穫作業を丁寧にすることで状態良い。中休み期間も去年の半分以下に抑えられた。普及センターの指導のお陰。 ◎計画の設定…対象の選定に問題はないと思う。ニーズも捉えていると思う。目標も適切と思う。 ◎活動展開の方向性…支援方向、活動手法は適切と思う。関係機関や農業者との連携も良いと思う。 ◎目標達成程度、今後の対応策の整理…これまでの活動による成果、未解決の課題等が適切に反映されていると思う。 ◎発表内容はとても分かりやすかった。 ◎活動目標の進捗と自己評価がとても良かった。 ◎全ての支援活動が農家の収益UPである点を忘れないで欲しい。収量面の他、販価面や投下労働力面等を総合した支援を希望する。 ◎品種特性を活かして、栽培技術は定着しつつあるよう | <ul style="list-style-type: none"> ・「にこにこベリー」が新品種ということもあり「とちおとめ」より高値で販売されている直売所が見られます。 ・農協系統の市場流通小売価格ではクリスマス需要期は「にこにこベリー」が1パック(270g)で660円、「とちおとめ」が740円です。クリスマス需要期は「とちおとめ」がケーキ用に販売されているものが多いため「とちおとめ」が高いと思われます。2月現在はどちらも同程度で取引されています。 ・宮城県の実組として、3月には石巻管内の6店舗も含め、 | |

ですが、品種の知名度を高める施策も必要かと思いません。

- ◎各法人の抱える課題に対して、それぞれ指導したことが良い方向に動いているようなので、引き続き調査や巡回をお願いする。
- ◎栽培勉強会で、にこにこベリーの品種特性や栽培について情報共有を図ることができたのは非常に良いと思う。社員だけでなくパート職員も含めた勉強会というのも良かったと思う。
- ◎新品種への移行がスムーズにできていない法人も見受けられる。
- ◎昨年の反省を踏まえ指導される中で、収量向上の兆しがある。
- ◎普及センターには宮城県第2位の出荷量を支えてもらっている。細かなチェックがとても全体的に浸透していると思う。
- ◎「とちおとめ」から「にこにこベリー」へ移行した生産者とその理由と成功事例を可視化していくことで、注目と評価が得られると考える。
- ◎「にこにこベリー」の良さや特徴が、他の品種に比べてわかりにくい面もあると思うため、多くのメディアや、SNSの活用での広報を生産者のサポートとして機能できる仕組みがネットワークで作られると良いと思われる。
- ◎房折れ対策を重ねながら技術力向上につなげていきつつ、新規就農者が研修できる仕組みをぜひ関係機関と共に構築して欲しい。
- ◎県や関係機関の協力で収量も伸びているようだし、生産の対策もしっかりととられているように見受けられる。きめ細かな巡回・指導のたまものだと感じている。
- ◎環境制御技術については、より多くのデータを集めてもらい、増収に結び付けられるように期待する。
- ◎「とちおとめ」より販売価格が高く、作り手にとって

にこにこベリーのスイーツフェア等も開催しPR活動を展開する予定です。

- ・栽培技術の確立、普及と合わせ関係機関と連携し、PR活動にも積極的に取り組んでいきます。

- ・これまで、普及センターのホームページやブログにて情報発信に努めてまいりましたが、現在、普及センターのSNS開設に向け準備を進めており、今後の情報発信等に活用する予定にしております。

| | | | |
|---------|-----|--|--|
| | | <p>も力になっていると思う。</p> <p>◎作付け面積の規模が拡大され、品質及び収量の安定化、そして経営が安定することを期待する。</p> <p>◎課題であった房折れや中休みという課題解決について取組んだ結果、安定した収量が見込まれるようになったことは、指導活動の成果があったものと思われる。</p> | |
| 課題No. 4 | 4.1 | <p>◎地域に新しい特産品を定着させようということで、現地で技術研修会やYouTubeでの発信ということで、いろいろな工夫をしながらの定着させようという取り組みに感謝している。</p> <p>◎今年、新型コロナウイルス感染症の影響で交流会や視察もできなかったため、来年度はぜひ開催して欲しい。グループワークなどで、生産者同士が顔見知りになってきたので、将来的に生産者団体つくるときもスムーズに立ち上げられると思うので、懇親の場を設けてもらえると良い。</p> <p>◎新型コロナ感染拡大の影響により直接会うことが難しいことは残念だが、Zoomを利用した講習会だったり、YouTubeを活用した発信など、時代に合っていて素晴らしいと思う。</p> <p>◎計画の設定…対象の選定に問題はないと思う。ニーズも捉えていると思う。目標も適切と思う。</p> <p>◎活動展開の方向性…支援方向、活動手法は適切と思う。関係機関や農業者との連携も良いと思う。</p> <p>◎目標達成程度、今後の対応策の整理…これまでの活動による成果、未解決の課題等が適切に反映されていると思う。</p> <p>◎発表内容はとても分かりやすかった。</p> <p>◎活動目標の進捗と自己評価がとても良かった。</p> <p>◎販売戦略会議の開催、またコロナ禍の中Zoomを活用した技術力向上セミナーの開催は素晴らしいと思う。</p> <p>◎アスパラガス栽培の定着のため、現地での研修会、Yo</p> | |

- utubeでの発信など、工夫をしていることがうかがえた。
- ◎グループワークで生産者同士の情報交換ができて良いと思う。
 - ◎トウモロコシ、枝豆のように鮮度が落ちやすい野菜であることをもっとPRしたいものである。
 - ◎病害対策はとても重要だと思うので、次年度もしっかりと指導をお願いしたい。
 - ◎面積が着実に増えていることや、関係者間の繋がりや雰囲気がとても良いようなので、栽培勉強会やセミナーの開催、YouTubeの活用など、どれも高く評価できると思う。
 - ◎コロナ禍の巣ごもり需要で野菜が前年より売れていると思われる。地元の新鮮なアスパラガスは直売所等でとても売りやすく、評判も味もとても良かったようだ。
 - ◎管内の生産者の栽培意欲を上げるようにブログなどで発信してもらい、とても励みになっていると思う。
 - ◎将来的には試食販売やふるさと納税にもあげてほしいと思う。
 - ◎試験圃場などでの茎枯病の対策は重要課題に感じる。安定した生産技術をネットワークでつなぎ、新規就農者も地域ネットワークにつなげていきつつ、新規就農者が研修できる仕組みをぜひ関係機関と共に構築して欲しい。
 - ◎導入段階ではあるものの、目標面積以上の取り組みの確保によって、課題を見つけ出すこともできたことは、さらなる拡大への良いステップになると思う。
 - ◎情報共有の場、農業者が自ら考える場の設定は今後の継続にも非常に意義があると思う。
 - ◎「新しい作物」という意見もあったが、関係機関一丸となって普及・拡大できるよう取り組んでいければと思う。
 - ◎安定生産に向けて病気対策が重要と認識している。安定生産により、販売戦略、販売先確保、単価向上に向け指導、支援をお願いする。

| | | |
|------------|---|-----------------------------------|
| | <p>◎「石巻のアスパラガス」が、ブランドとしての知名度を高め、広く知られるようになることを強く望む。</p> <p>◎そのためには、安定した生産が重要であるが、課題である茎枯病や斑点病等の病害対策について、生産者が共通の認識として取り組む必要があることから、今後についても、指導活動を継続的にお願いしたい。</p> | |
| <p>その他</p> | <p>○新型コロナウイルスの影響で、米の在庫が多いと聞いており、野菜の単価も低い印象がある。厳しい状況ではあるが、自分の地域に民間企業を辞めて農業をやるという若い子がいる。石巻地域は他地域よりも新規就農や希望者が多いと思う。私たちも地域の農業を将来託していきたいので、そのような子たちを普及センターと育てていきたいと思う。継続して指導願いたい。</p> <p>○当法人で令和3年春から農大生2人採用。2年前に先進農家派遣研修で来た方と他もう一名。農大生の研修や新卒者の採用などについて、普及センターにも関わってもらおうと思うので、よろしく願いたい</p> <p>○どの課題に関しても、普及センター職員が知恵を絞って、農業の環境作り、新たな技術取得に関して、それぞれに力を入れてもらっている。</p> <p>○石巻ならではの特産品、地場産品として、にこにこベリー、河北セリ、今度はアスパラガスがますます特化され、インパクトがあったり、価値が上がっていけば、新規就農を目指す方の指標になると思う。</p> <p>○こういった中にロールモデルができていけば、事業継承や担い手育成ということにつながったり、ネットワークの構築に繋がる。</p> <p>○若手農業者の中で頑張っている方がいて、ネットワークとか交流会、4Hクラブと連携を行いながら、ヒトづくりのモデルとなって、面となって農業の発展に繋がればといいと思う。</p> <p>○日々仕事をしている中で、どうやって進めていったら</p> | <p>・より良い普及活動に取り組めるよう、普及活動検討委員</p> |

いいのかなど、普及指導員が悩んでいるものがあれば、外部の検討委員に、こういう問題はどのように解決したらいいのか、というような投げかけがあっても良いのではないかと思った。そういうものがあれば、さらに良い検討会になるのではないかと思う。

- どれも現状に即しており、課題の整理も進んでいる。課題を実行する上で、農業者の所得向上へのイメージが持てれば、農家にとっても指導機関にとっても良いこと。継続して頑張ってもらいたい。
- 次年度の重点課題、特に獣害対策について、石巻市で大変な被害があり、東松島市も鳴瀬大塚でイノシシが見られている。どこかが頑張って対処できる問題ではない。地区の住民の理解を得ながら進めなければならないという点からすると、そういうところのモデルケースとなれば良いと思う。力を入れていって欲しい。
- ◎人員に限られる中、県全体の方針を地域の実情に合わせて目標化し、活動されていると思う。
- ◎昨年は「アスパラガス」、今回は「河北のせり」と新しい取組みにも積極的と感じる。失敗を恐れず農家の高収益化を支援して欲しい。
- ◎しっかり利益が出ている経営体に後継問題はない。誰かが必ず後を継いでいく。農業をはじめ、しっかり利益が出ていない業種で後継問題が深刻だ。利益が上がれば経営体が今抱えている問題の殆どは解決すると言われている。
- ◎新型コロナウイルス感染拡大で農産物の価格低迷が続いている。その中であっても新規就農者、就農希望者が増えてきているので、継続的な支援をお願いする。
- ◎石巻地域の農業がより良くなるよう、これからも巡回指導、アドバイスをお願いしたい。
- ◎石巻地域は沿岸部から山間部まで様々な特産物がある。農と漁が連携を密になって商業にPRし、盛り上がってほしいと思う。
- ◎農業だけでは上手くいかなくても、一次産業としてこ

の方々には必要に応じて御助言いただきたいと思いま

す。

れからもメイド イン イシノマキを後押ししてほしい
と思う。

◎生産者の好事例の取り組みが、担い手育成支援と連動
され、地域の新規就農者の確保につながっていくユニ
ットがあると良いと思った。

◎これまで以上に関係機関との連携を図っていくため
にも普及センターの皆様には地域のハブとなって支えて
欲しいと思う。

◎本普及活動検討会に参加し3年になるが、全体的に報
告資料は、以前から比べ、わかりやすく整理されてい
るよう感じているところである。

◎コロナ禍の状況が続くなか、農業に従事したいという
若い世代が増加する傾向にあるという情報もあり、今
後も、継続的な新規就農者への支援についてお願いし
たい。

・市・農業委員会・JA・研修機関・普及センターが今まで
以上に連携して就農支援を機能させるため、定期的に情
報共有を図ります。就農者の事例を学ぶ場を作るなど、
就農者と支援機関のハブの役割を、普及センターで果た
していきたいと思います。